



こんにちは

村田けい子

2016
12.23
No82

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。
発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

「観光をいかしたまちづくりと日本版DMO」学習講演会に参加。



12月15日町の企画で、「暮らすように観光するための改革」として、茅野市の「観光によるまちづくり」の責任者が講演し、参加しました。これまでの名所旧跡を訪ねる団体による観光から、個人の旅に、旅の在り方が大きく変わってきており、一人ひとりの「やりたいこと」「思い出に残ること」など個人の要望に応じたプランを立て、それに応える観光を提供するための窓口＝立科版DMOの必要性を感じさせる講演でした。でもこの日の参加対象者は町職員と議員だけ。なぜ最初から商工会や、各地域の区長・部落長など多くの町民に呼びかけなかったのかと思います。

Destination Management Organization 「旅」をアレンジ調整する部署・機関

立科町は国に先駆けて「ユーユー立科」など商工会が中心になり、都市部の子どもたち、あるいは台湾など外国の人々との交流事業を進めています。今でも「ほっとステイ」事業として各家庭に子供たちが訪れ、「芋ほり」「草むしり」など、農業体験をしてもらっています。これをさらに広げて、例えば女神湖のカヌー体験、御泉水の散策、自然体験教室など、地域資源を生かし、地域のみなさんの知恵や技術を生かしたメニューを公式に開発し、観光客を募ることができます。担ぎ手のなくなったおみこしの担ぎ手を都市部から募集し、町の祭りに参加してもらったり、縄やしめ飾りのわら細工の体験、漬物の付け方講習など、「立科の暮らしそのもの」を観光事業として成立させることは可能です。町は1月17日午後から山で、1月26日夜には里で、住民を対象に同様の講演会を開くとしています。こうした町を挙げての魅力再発見やこれを観光につなげる取り組みは多くの住民が参加し知恵を出し合わなければ成功しません。みんなで大いに語り合い知恵を出し合ひましょう。

12・16 中部横断自動車道建設促進 佐久地域議員連盟設立総会発足



司会を務める藤岡県議

白田のコスモホールの会議室で



佐久出身県議団の呼びかけで、佐久地域の議員による中部横断道の建設促進を求める議員連盟が発足し参加しました。司会は何と藤岡県議でした。

佐久穂町から長坂までの間の建設促進ですが、南牧村の片桐議員から、「高速道路をつくることは賛成だが、南牧村の優良農地をつぶさないよう、配慮してほしい」と要望がありました。

12/17 「国境なき医師団」の活動報告会

中込の佐久総合病院医療センターで「国境なき医師団」の活動報告と「志ある方はご参加を」の呼びかけがありました。同病院の医師がメンバーの一人であることから、初めて行われたとのことです。国連などが動けないところでも、人道上の立場から緊急時には駆けつけて医療や保健指導、物資の配布など活動をしています。

いのちに直結しているだけに、その活動は命がけです。頭が下がります。戦争は一番の環境破壊、生活破壊です。



本当に通り抜けできません」



通り抜けできないと表示があっても、土日や夜間などは通れることの多い工事現場。私も「本当かな」と進んでみました。本当に車は通れないようになっていました。何やら人間臭い、温かみのある看板ですね。

まちの話題

お楽しみクリスマスin西塩沢 にぎやかに盛り上がる

12/20(火) 西塩沢公民館で行われたイベントは、立科町のあちこちから住民が連れ立って参加し、大きな盛り上がりを見せました。私も事務局を務めましたので、楽しい模様をお知らせします。



会場いっぱいの参加者 司会者もサンタさん。

6:00からは展示販売も始まるとあって、次々とブースに立ち寄ります。お正月用のしめ縄30本やちりめんで作ったお正月飾り、丹精込めて作ったキウイや栗などの穀物、地元立科産の芋焼酎「烏龍白龍」の紺色のお酒も並びました。実行委員会で作ったスモークチーズも30本用意しましたが、完売。フリマではオルゴール人形や衣類、小物などが次々と売れていました。

展示では、今年の日玉、御柱の木落としを現した創作人形や干支飾り、真田丸の騎馬軍団を表現したわら細工、クラフトテープで作った鉢カバー。そして茂田井のYさんの折り紙、サンタやトナカイ、ライオンやクマなど動物もたくさん並んでいます。



今井さんの太鼓でオープニング



「今夜は楽しんでいただければ・・・」実行委員長のご挨拶



創作折り紙
サンタとトナカイなど



今井議員の福島県飯館村の視察報告の写真展



塩沢民謡愛好会 3曲の演奏

民謡、日本一となった喉もご披露された。



わら細工「真田丸」



ちりめん細工のお人形や干支飾り



ハンドベル
「365日の紙風船」を熱演。クリスマスコンサートにふさわしい澄んだ鈴の音が響いた。



地元バンド「新田の風」
「ルージュの伝言」など。



クラフト工芸の鉢カバー

クラインガルテンにお住いの「ほほえむ」さん。澄んだ歌声と詩情豊かに聞かせたギターの演奏でした。会場もいっしょに「ジングルベル」や「赤鼻のトナカイ」など参加者みんなで声を合わせました。



西塩沢で初めての試みの「ディナー付きクリスマスコンサート」。地域の力を見てもらおうと展示と販売・フリマも併せて開催したが大成功でした。6時半からコンサート第1部、7時過ぎから食事、そして第2部とメインステージへと、趣向を凝らして、参加者に楽しんでもらう企画が盛りだくさん。私の考える「地方創生」は地域にある資源（歴史的・地理的・生産物・人的）の魅力を引き出し生かすこと。立科町は「お宝」の宝庫です。



好評だったしめ飾り。完売

お漬物など差し入れがたくさん。